

平成27年度中小企業等技術者研修（製紙工学・中期）

研 修 日 程 表

日 時	科 目	講 師	内 容
10月6日（火） （9:00～9:30）	開 講 式（9:00～9:30）		
（9:30～12:00）	製紙原材料概論 （2.5時間）	（社）静岡県紙パルプ技術協会 技術アドバイザー 久保田 道孝	パルプ・紙の構成素材について概説する（パルプ、カラー、填料、薬品）
（13:10～16:10）	紙料調成法 （3時間）	富士工業技術支援センター 上席研究員 深沢 博之	パルプの離解・叩解効果，叩解の原理と評価法など
10月7日（水） （9:00～12:00）	紙料調成機械 （3時間）	相川鉄工（株） 技術営業部 部長 望月 英雄	叩解機、除塵機、スクリーン等紙料調成機械、白水・排水処理設備について解説
（13:10～16:10）	抄紙機各論 （3時間）	（株）小林製作所 技術部 部長 向井 正仁	ヘッドボックス、プレス、ドライヤーなど抄紙機械の構造及び機能各論
10月8日（木） （9:00～12:00）	抄紙概要 （3時間）	日本製紙（株） 富士工場 抄造一課長 大西 勇平	紙抄造の概略、大型高速抄紙機の特徴等について解説
（13:10～16:10）	内部添加剤 （3時間）	荒川化学工業（株） 製紙薬品事業部研究開発部	製紙用内部添加剤（紙力増強剤、サイズ剤、歩留り剤など）
10月9日（金） （9:00～12:00）	用紙と印刷 （3時間）	（社）静岡県紙パルプ技術協会 技術アドバイザー 久保田 道孝	用紙の種類（種類・寸法）、印刷概論、用紙の印刷適正、用紙が原因のクレーム等について
（13:00～15:00）	パイロットマシン利用 抄紙機概要	（社）静岡県紙パルプ技術協会 技術アドバイザー 壽 和徳、久保田道孝	パイロットマシンを利用して製紙機器（原質、抄紙）の解説
10月14日（水） （9:00～12:00）	古紙処理法 （3時間）	（社）静岡県紙パルプ技術協会 技術アドバイザー 漆畑 景信	古紙の離解，精選，脱墨など現場の立場から技術解説
（13:10～16:10）	家庭紙の製造 （3時間）	（社）静岡県紙パルプ技術協会 技術アドバイザー 壽 和徳	各種家庭紙の製造方法（抄造・加工）及び製造方法による品質の違いについて

10月15日 (木) (9:00~12:00)	仕上包装 (3時間)	(社)静岡県紙パルプ技術協会 技術アドバイザー 上山 繁蔵	紙、板紙製造における仕上げおよび 包装技術
(13:10~16:10)	紙 塗 工 法 (3時間)	(株)IHIフォイト ペーパー テクノロジー 製紙機械技術部基本設計グループ 石塚 克己	紙・板紙の顔料塗工法について
10月16日 (金) (9:00~12:00)	製紙工場における 省エネルギー (3時間)	横河ソリューションサービス(株)	製紙工場で取り組む省エネルギーの 基本的な考え方、推進方法
(13:10~16:10)	品質管理 (3時間)	(社)静岡県紙パルプ技術協会 技術アドバイザー 志部谷 和博	品質管理の基本、手法等の解説

注:講師の都合で日程を変更することもあります。

日 時	科 目	講 師	内 容
10月19日~ 10月23日 の内 4日間 後日連絡 (9:00~12:00) (13:00~16:00) <u>実習会場</u> 富士工業技術支援 センター試験室等	実 習 (24時間) ○紙料調成・抄紙 ○古紙処理・評価 ○物性試験等	富士工業技術支援センター 製紙科研究員	
	閉 講 式		

注:実習については、小グループ(4班)に編成して、上記科目を実施します。

従って編成グループによって実習科目の順番や日程が異なります。